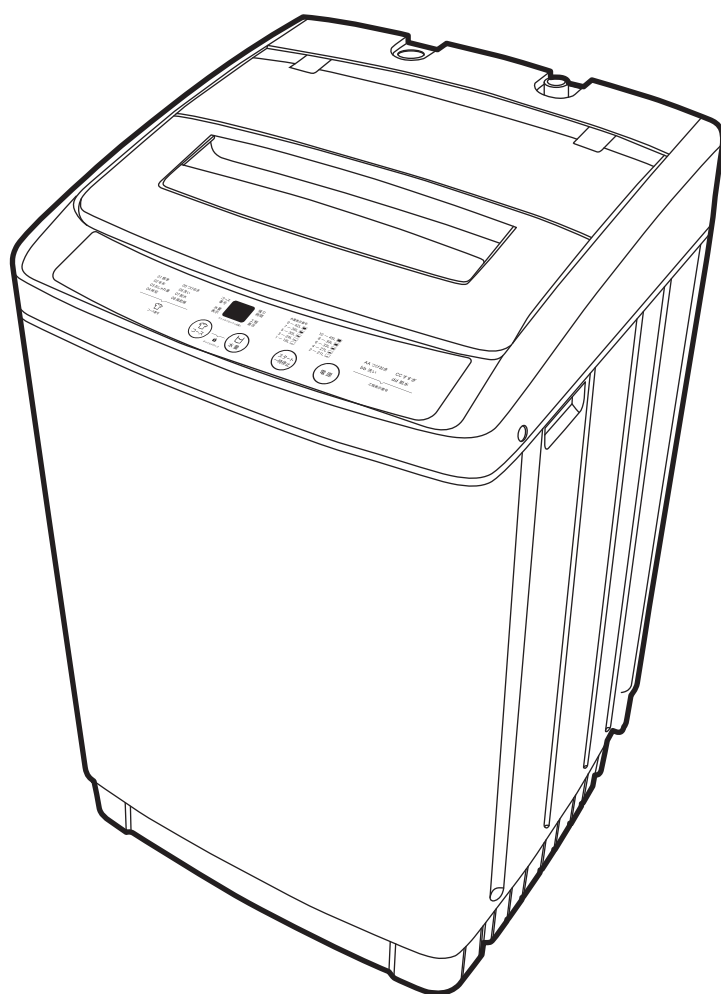


# Grand Line

## 据付説明書

全自動洗濯機 5kg  
(ホワイト/ダークグレー)

AS-WM50WT-100/AS-WM50DG-100



### 設置される方へ

この据付説明書を必ずお読みになり、正しく設置してください。不具合のないことを確かめてからご使用になる方へお渡しください。

同梱の付属品(取扱説明書に記載)をお確かめのうえ、余った付属品などはこの据付説明書とともにご使用になる方へお渡しください。

切った排水ホースは必ずご使用になる方へお渡しください。

### ご使用になる方へ

この据付説明書は、ご転居や配管清掃後などの再設置に備えて、余った付属品などとともに必ず保存してください。

事前確認	P.1
底部カバー	P.5
排水ホース	P.6
据え付け	P.7
給水ホース	P.8
電源・アース線	P.12
据え付けの確認	P.13




家庭用

# 事前確認




## 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

### 表示の説明

 <b>危険</b>	「死亡または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。
 <b>警告</b>	「死亡または重傷 <sup>*1</sup> を負う可能性がある内容」を示します。
 <b>注意</b>	「軽傷 <sup>*2</sup> を負うことや、物的損害 <sup>*3</sup> が発生する可能性がある内容」を示します。

### 図記号の説明



	中の絵や近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。
	中の絵や近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。
	中の絵や近くの文で、注意を促す内容を示します。

※1:重傷とは、失明やけが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。


※2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3:物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 警告

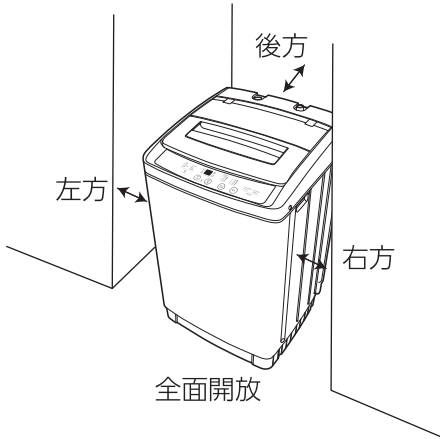
	<b>浴室など湿気の多い所や風雨にさらされる場所に置かない</b> ・感電や漏電による火災や故障の原因になります。
	<b>確実に排水できる場所に置く</b> ・排水不良による漏電・火災・感電の原因になります。

## 注意

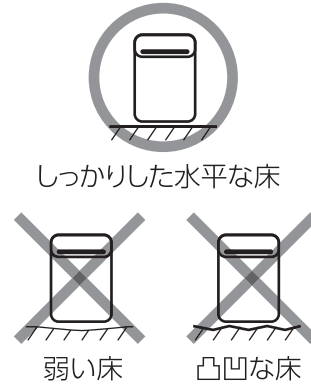
	<b>高いところには設置しない</b> ・振動による本体の移動や落下で、怪我や本体・家屋などの破損、水漏れなどのおそれがあります。
---	--

# 事前確認(つづき)

## 据え付け場所



場所	遠隔距離
左方	5cm
右方	5cm
後方	5cm



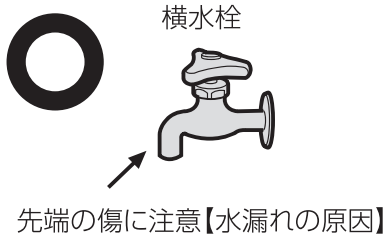
- 据え付け前に排水口の掃除をする  
【排水に時間がかかったり途中で止まる原因・異臭の原因】
  - 設置後も糸くずなどのごみがたまっていないか定期的に確認してお掃除してください。
- 次のような所には、置かない
  - 冬期に凍るおそれのある所(水抜きや解凍が必要)
  - 直射日光のあたる所  
【紫外線でプラスチックが傷み破損したり、変形や故障の原因】
  - タイルなどのすべりやすい床、ベランダや弱い床、平らでない所  
【振動や騒音が大きくなったり床を傷める原因】
  - ブロックやレンガ、角材の上など不安定な所  
【振動や騒音、本体が転倒してけがの原因】
- 壁などから5cm以上離して設置する
  - 蛇口や水栓つぎてからも離してください。
- ラジオ、テレビなどは本体からできるだけ離す。  
【雑音の原因】

# 事前確認(つづき)

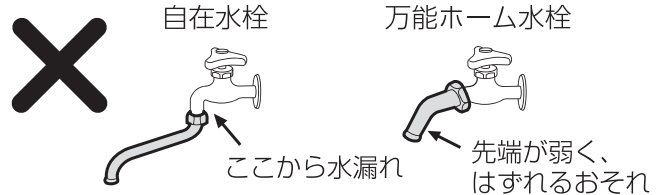
## 水栓

### 水栓つぎてを使用する蛇口

#### 適した蛇口



#### 適しない蛇口

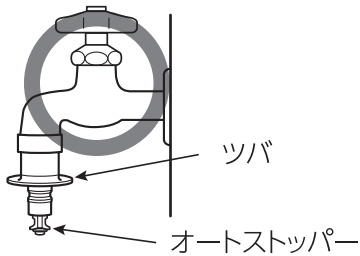


### 水栓つぎてを使用できない蛇口

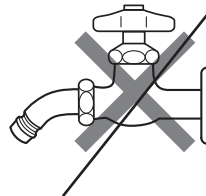
全自動洗濯機用水栓の場合は、水栓つぎてを取り外し、給水ホースを取り付けてください。

※適した水栓は、ツバ付の部品で、ツバの無いものはご使用できません。

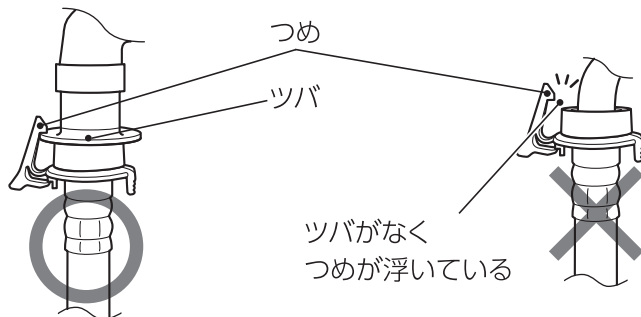
#### 全自動洗濯機用水栓 (安全対策あり)



#### 全自動洗濯機用水栓 (安全対策なし)



#### 上の2種類の水栓に給水ホースを接続した例



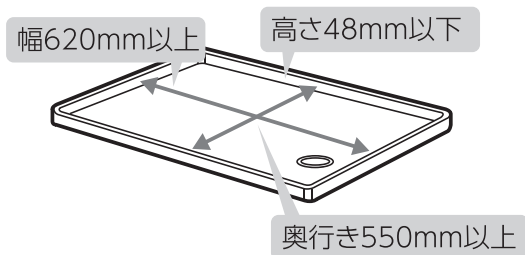
## 防水パン

### 防水パンに設置する場合

内寸が幅620mm以上、奥行き550mm以上が必要です。

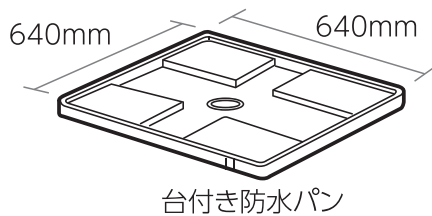
#### ●奥行きが550mm～580mmまでの防水パンに設置する場合

内寸の高さが48mm以下の防水パンを使用してください。



#### ●四隅の上がった台付き防水パンに設置する場合

外寸640mm×640mmのタイプに設置できます。  
※壁との距離など据え付けに必要な寸法を確認してください。



#### ●上記以外の場合

奥行きが580mm以上の防水パンが必要です。

### 防水パンがなく、木床などに直接すえつける場合

夏季などの湿度が高い状態で冷水などを使って洗濯するときや、冬季など室温の低いときは、洗濯機の内側が結露し、床面をぬらすことがあります。

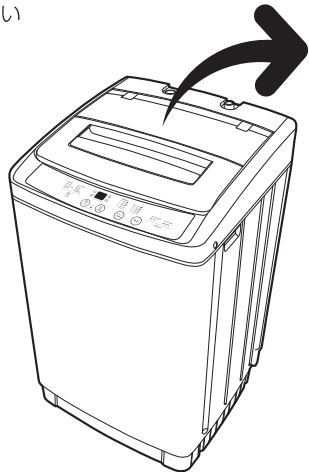
市販の洗濯機トレーのご使用をおすすめします。

# 底部カバー

## 底部カバーの取り付け

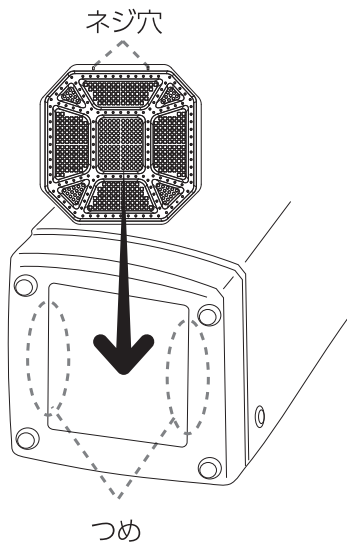
### 1 本体正面が上になるように、本体を倒す

※傷つかないよう、必ずやわらかい布などを敷いて作業を行ってください

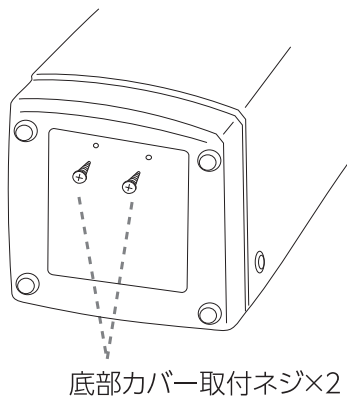


### 2 本体正面側から底部カバーを差し込む

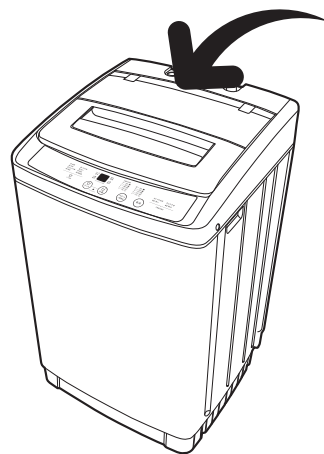
※底部カバーのネジ穴が上に来るように差し込んでください  
※本体のつめに引っかかるように差し込んでください



### 3 本体正面側のネジ穴にネジで固定します



### 4 本体をゆっくり起こします



# 排水ホース

## 排水口の位置の確認

排水口の位置を確認します。  
同時にエルボ(接続用L字つぎて)の有無を確認します。

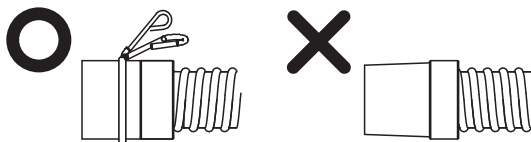
## 排水ホースの接続

### 1 排水口を掃除する

【排水に時間がかかったり途中で止まる/異臭の原因】

### 2 排水ホースを本体に接続する

排水ホースを本体右側の接続部に差し込み、ホースクリップで留める。

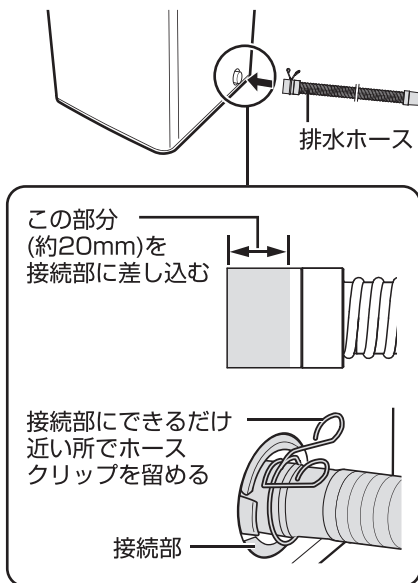


※ホースクリップはくびれがない方に取り付けます。反対側では接続できません。

※ホースクリップの向きにもご注意ください

差し込みにくいときは排水ホースの内側に石けん水をつける。

排水ホースを軽く引っ張り抜けないことを確認する

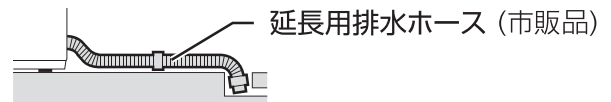


### 3 排水ホースを排水口に接続する

排水口が本体の左または後方にある場合は、排水ホースを本体の外側から引き回して接続する。

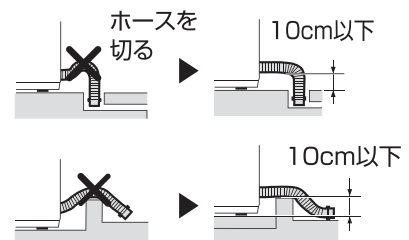
## 排水ホースの処理

**短い** 内径3cm以上のホースを長さ1.5m以下で延長します。

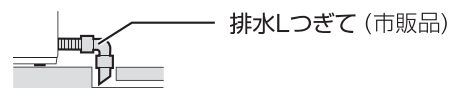


**高くなる** 必ず水平(高さ10cm以下)に設置してください。

【給水が止まらない、運転が止まる、脱水中の異音などの原因】

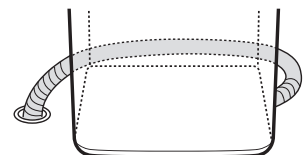


**折れ曲がる** つぎてで折れ曲がりを防ぎます。



**排水口が本体の左または後側の場合**

排水ホースを本体の外側から引き回して差し込む



**排水口が真下** 市販の真下排水つぎてセットをご利用ください。

【ホースがつぶれたり、機構部や床に当たって異音や破れの原因】

# 据え付け

## ⚠ 注意



**本体の下に手や足などを入れない**

・回転する部分などでけがをするおそれがあります。

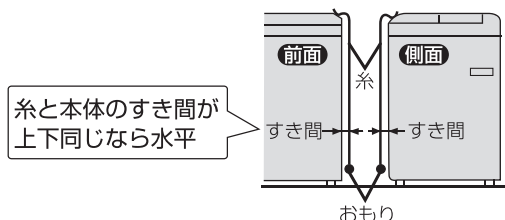


**がたつきをなくし、水平に設置する**

・がたつきや傾きは振動が大きくなったり、運転が途中で止まる原因になります。

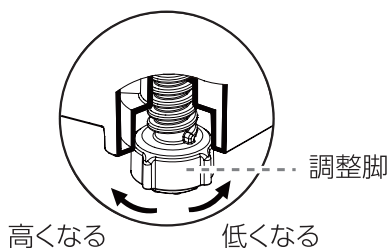
### 1 水準器(別売)で水平度を調整する

水準器がない場合は、おもりを付けた糸を図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



### 2 水平でないときは、調整脚を回して調整する

調整脚は、本体手前の右側にあります。本体の底部が床に当たったり、防水パンのコーナ一部に乗り上げたりしないようにしてください。



### 3 本体の対角(右前・左後、または左前・右後)を押さえて、ガタつきがないか確認する

ガタつきがあるときは、もう一度調整してください。



# 給水ホース

## 警告



**必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう**

**濡れた手で抜き差ししない**

- 感電・けがの原因になります。

## 注意



**運転の前に水栓を開き、給水ホースの接続部のゆるみや水もれのないことを確認する**

- ねじやホース接続などがゆるんでいると、水もれして床などの家屋や家具がぬれたり、破損したりすることがあります。



**運転終了後は、水栓を閉じる**



**水栓つぎと給水ホースは同梱のものを使う**

- すでに付いている場合も新しいものに取り換えてください。



**作りつけの水栓などで、接続部に傷がついていたり、さびやメッキのはがれがある場合は、新しいものに交換する**

- 接続部を確認し、ごみなどが付着している場合は、取り除きます。
- 水漏れの原因になります。



**給水ホースの抜き差しは、まっすぐにおこなう**

- 給水ホース内部のパッキン(黒)が傷つきます。
- 水漏れの原因になります。



**ホースはゆっくり差し込む**

- ホース内部のパッキン(黒)がねじれるなど変形しやすくなります。
- 水漏れの原因になります。

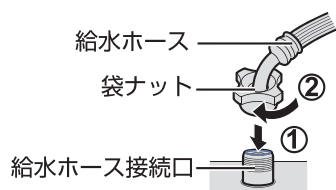
# 給水ホース(つづき)

## 取り付けかた

### 水栓つぎてを使用する蛇口の場合

#### 1 給水ホースを本体へ取り付ける

- ①袋ナットを給水ホース接続口にまっすぐあてがい
- ②強く締め付ける。  
袋ナットをホースとともに動かすと、よく締まります。

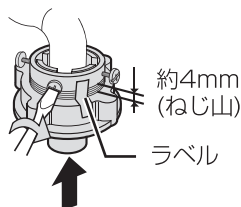


#### 2 蛇口に水栓つぎてを取り付ける

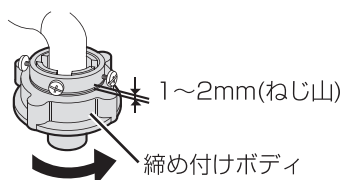
- ①ねじ(4本)を緩めて蛇口に当てる。  
ねじを蛇口の径までゆるめて、中央に押し当てる。
  - 壁側のねじをあらかじめ調整しておくとうり付けやすくなります。
  - 蛇口の径が大きい(16mm以上)ときは、つぎてリングをはずします。



- ②まっすぐに押し当てながら、ねじを均等にしっかり締め付ける。

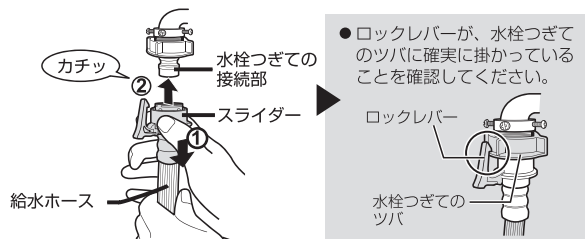


- ③ラベルをはがし、ねじ山が1~2mm程度になるまで、締め付けボディを手で強く締める。
  - 締め付けボディは必ず締めてください。【水漏れの原因】



#### 3 水栓つぎてに給水ホースをつなぐ

- ①スライダを引き下げながら
- ②水栓つぎてにまっすぐ、「カチッ」と音がするまでゆっくり差し込んでから、スライダをはなす。



#### 4 取り付け具合を確認する

##### 本体側

給水ホース接続部のぐらつき・ゆるみ、また、ホースの折れ曲がりがないか確かめる。

【水圧で水が飛び散る原因】

##### 水栓側

ホースを引っ張り、傾き、ぐらつき、緩みなどがなく取り付けられている事を確かめる。

蛇口を開き、水漏れしないか確認。

- 水漏れしたときは、給水ホースを一旦はずして、取り付け直してください。
- それでも水漏れが続く場合は、手順2に戻り、水栓つぎてを取り付け直してください。
- 水栓つぎては、長期のご使用でねじが緩んだりすると、水漏れし、水浸しなど思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検してください。

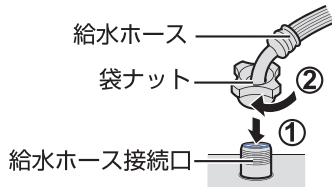
# 取り付けかた

## 水栓つぎてを使用できない蛇口の場合

### 1 給水ホースを本体へ取り付ける

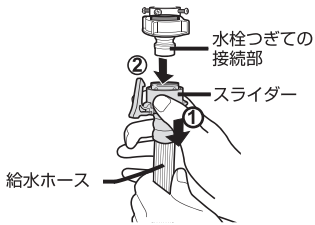
- ①袋ナットを給水ホース接続口にまっすぐあてがい
- ②強く締め付ける。

袋ナットをホースとともに動かすと、よく締まります。



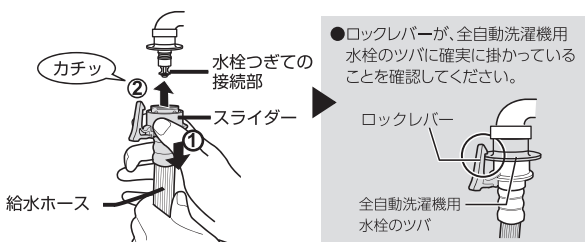
### 2 水栓つぎてを給水ホースをから外す

- ①スライダーを引き下げながら
- ②水栓つぎてを給水ホースから取り外す。



### 3 給水ホースを全自動洗濯機用水栓に取り付ける

- ①スライダーを引き下げながら
- ②全自動洗濯機用水栓にまっすぐ、「カチッ」と音がするまでゆっくり差し込んでから、スライダーをはなす。



# 給水ホース (つづき)

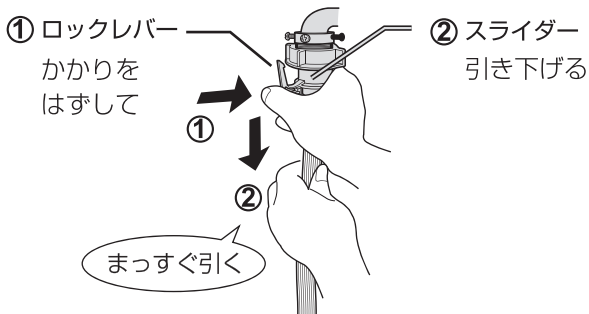
## はずしかた

### 水栓つぎてを使用する場合

- 1 ふたを閉めたまま蛇口を閉じてから電源を入れる
- 2 「コース」ボタンで07(脱水)を選び、「スタート/一時停止」ボタンを押す。  
約10秒後電源を切る。
- 3 給水ホースをはずす

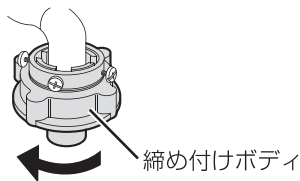
電源プラグをコンセントから抜いて、作業を行ってください。

- ① ロックレバーのかかりをはずして、
- ② スライダーを引き下げる。
  - ・ホース内に水が残っていますので、容器などで受けてください。



- 4 水栓つぎてを蛇口から取り外す

- ① 締め付けボディを手で緩める



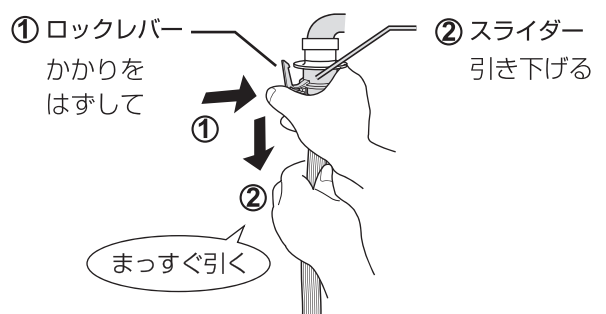
- ② ねじを緩め、水栓つぎてを取り外します。  
落ちないように手などを添えながら作業してください。

### 水栓つぎてを使用できない場合

- 1 ふたを閉めたまま蛇口を閉じてから電源を入れる
- 2 「コース」ボタンで脱水を選び、「スタート/一時停止」ボタンを押す。  
約10秒後電源を切る。
- 3 給水ホースをはずす

電源プラグをコンセントから抜いて、作業を行ってください。

- ① ロックレバーのかかりをはずして、
- ② スライダーを引き下げる。
  - ・ホース内に水が残っていますので、容器などで受けてください。



# 電源・アース線

## 警告



指示

**交流100V、定格15A以上のゆるみがないコンセントを単独で使用する**

- ・延長コードやタコ足配線をすると、火災・感電の原因になります。



指示

**アース線を確実に取り付ける**

- ・故障や漏電のときに感電する原因になります。

## アース線の取り付け

感電防止のために、アース線をアース端子に取り付ける

- ・アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**アース付きコンセントが無い場合**

市販のアース棒の使用が必要になります。

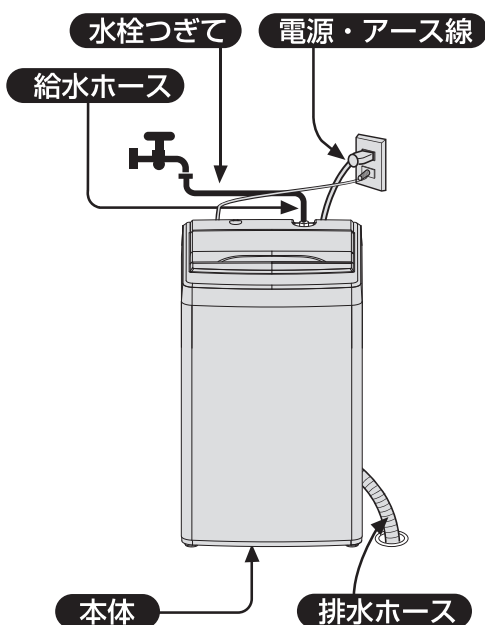
- ・お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

## 電源コードの接続

電源プラグをコンセントに差し込む

# 据え付けの確認

## 運転前の確認

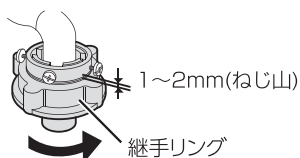


### 電源・アース線

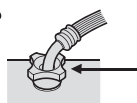
- 単独、15A以上のコンセントですか?  チェック
- コンセントの差し込みが緩くありませんか?
- アース線を取り付けましたか?

### 給水ホース・水栓つぎて

- 付属の給水ホースと水栓つぎてに取り替え  
ましたか?  チェック
- つぎての緩み、ぐらつき、傾きがありません  
か?  チェック



- 袋ナットは強く締まっていますか?  チェック



- ホースのねじれや折れ曲がりはありませんか?  チェック



- ホースの接続に余裕がありますか?  チェック



- 蛇口を開けて水が漏れませんか?  チェック

### 排水ホース

- 本体の接続部の奥まで差し込んでいますか?  
ホースクリップで固定していますか?  チェック
- 本体の下に押し込んでいませんか?  
よじれ、つぶれはありませんか?  チェック
- 排水口が本体の下になる場合は、市販の真下  
排水つぎてセットが必要です。  チェック
- 持ち上がっていませんか?(10cm以下に)  チェック
- 排水口にゴミがたまっていませんか?  チェック

### 本体

- 本体の対角を押さえてガタつきませんか?  チェック
- 水準器が水平を示していますか?  チェック

# 据え付けの確認(つづき)

## 試運転する

**1** 最大の水量に設定し、「洗い」のみで運転する。

**2** 「脱水」のみで運転する。

運転中に本体、給水ホース、排水ホース接続部、排水口からの水漏れや異常な振動・騒音がないことを確認する

- 脱水時、高速運転になるまでの間に一時的に振動が大きくなるがありますが、異常ではありません。

# お客様相談窓口

お電話でのご相談



## 03-3573-0703

受付時間 10:00～17:00(月～金)

※弊社営業日(土日祝日を除く)

お問い合わせフォーム



<https://a-stage.force.com/astage/s/>

## 株式会社 A-Stage

[ 本 社 ] 〒105-0004 東京都港区新橋1丁目9番5号 KDX新橋駅前ビル 3F

[商品管理センター] 〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-8-1 船橋西浦物流A棟 2F